

No.	ページ	見出し・内容
		<はじめに>
		<施策の総合的な評価（最終評価暫定版）の概要>
		第1部 かながわの水源
1		神奈川県の水源地環境
	1, 2	1 水利用の観点からみた神奈川県の特徴
		2 水資源開発の歴史
		3 施策導入時点の課題
		4 水源地環境保全・再生施策について
		5 水源地環境保全・再生かながわ県民会議による評価
2	3, 4	○ 宇宙から見たかながわの水のふるさと
3	5, 6	○ 相模川・酒匂川
4	7, 8	○ かながわの水がめは？ ～4つのダム湖～
5	9, 10	○ かながわの水がめの水質
6	11, 12	○ かながわの水質(BOD)について
7	13, 14	○ かながわの水源地の水質（生物指標）
8	15, 16	○ 森林管理と水源かん養機能のかかわり
9	17, 18	○ 水源地の山地と森林
10	19, 20	○ 水源地の森林の歴史
11	21, 22	○ 水源地の森林づくり
12	23, 24	○ 森林の土壌流出と水や生きものへの影響
13	25	○ 川は自然の浄水場～微生物の力～
14	26, 27	○ 川の自然浄化機能を発揮させるためには
		第2部 水源地環境保全・再生の施策と展開
		水源地環境保全税の導入と施策展開
15	28	1 水源地の森林づくりの取組
16		2 水源地環境保全税の導入
17	29, 30	3 水源地環境保全・再生施策とは
		4 施策の推進
18	31	(1) 県民の意志を基盤とした施策展開
19		(2) 順応的管理の考え方に基づく施策推進
20	32-34	(3) 施策の評価方法
21	35	(4) 「第1期実行5か年計画」(平成19年度～23年度)による取組
22	36	(5) 順応的管理の実践①
23	37	(6) 「第2期実行5か年計画」(平成24年度～28年度)による取組
24	38	(7) 順応的管理の実践②
25	39	(8) 「第3期実行5か年計画」(平成29年度～令和3年度)による取組
26	新規	(9) 順応的管理の実践③
27	新規	(10) 「第4期実行5か年計画」(令和4年度～令和8年度)による取組
28	40	(第4期5か年計画に基づく特別対策事業(11事業)の構成)
29	41-42	5 かながわの水源地環境の課題と施策展開について(第4期5か年計画)
30	43-44	6 水源地環境保全・再生施策の総合的な評価(最終評価)暫定版について
		第3部 水源地環境保全・再生施策の総合的な評価(最終評価)
		施策の評価結果
		1 事業費及び事業量(アウトプット)による評価
31	45	(1) 事業費について
32		(2) 事業量(アウトプット)について
		2 施策の効果を示す指標(現時点のアウトカムの達成度(状況))による評価
33	46-48	(1) 森林の保全・再生
34	49, 50	(2) 河川の保全・再生
35	50, 51	(3) 水源地環境への負荷軽減
36	52, 53	(4) 地下水の保全・再生
37	53, 54	(5) 施策の目的

No.	ページ	見出し・内容
		3 各事業の統合的指標(2次的アウトカム)による評価
38		(1) 水源かん養機能の向上/生態系(森林)の健全化
39	55, 56	(2) 水源水質の維持・向上/生態系(河川)の健全化
40		4 施策全体の目的(最終的アウトカム)による評価
41	57, 58	5 全体総括
		6 評価資料
42	59-70	(1) 水源環境保全・再生施策の効果を示す指標等
43	71-95	(2) モニタリング・評価資料
44	96-100	(3) 特別対策事業実績一覧
45	101	(4) 特別対策事業の実施箇所(H19～R4)
		(5) 事業評価シート
46	102	1 水源の森林づくり事業の推進
47	103	1 水源の森林づくり事業の推進(森林塾)
48	104	2 丹沢大山の保全・再生対策
49	105	3 溪畔林整備事業
50	106	3 土壌保全対策の推進
51	107	4 間伐材の搬出促進
52	108	5 地域水源林整備の支援
53	109	6 河川・水路における自然浄化対策の推進
54	110	7 地下水保全対策の推進
55	111	8 生活排水処理施設の整備促進
56	112	9 相模川水系上流域対策の推進
57	113, 114	10 水環境モニタリングの実施
58	115	11 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み
59	116-123	(6) 施策大綱構成事業実績一覧
		(7) 水源保全地域の経済的価値の評価(水源環境保全・再生施策の経済評価)
60		I 評価の位置付け
61	124, 125	II 評価結果
	新規	III 附属資料(自然資源勘定)
	新規	IV NbSによる事業評価
		第4部 今後に向けて～将来世代に引き継いでいくために必要なこと～
62	126, 127	1 将来にわたり良質な水を安定的に確保し、様々な生き物が共存する豊かな森と川を将来世代に引き継ぐために
63	128	神奈川県“水源環境保全税”と国“森林環境譲与税”について <u>気候変動対策、生物多様性保全対策としての水源林整備</u> <u>令和元年度東日本台風による記録的な大雨と被害状況</u>
		2 県民の皆様に支えられて(県民参加の取組)
64	130-139	(1) 水源環境保全・再生かながわ県民会議の活動
65	140	(2) 市民団体の活動支援

【各事業、1ページ程度で整理】
 <記載内容>
 ① 事業名
 ② 事業のねらい・目的
 ③ 事業内容
 ④ 事業実績(R4まで)
 ⑤ 実施箇所図
 ⑥ 写真(前後)
 ⑦ 評価コメント